## 計算書類に対する注記

## 1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却について

什器備品……定額法による減価償却を実施している。

## (2)資金の範囲について

資金の範囲には、当座預金、普通預金、郵便振替及び未払金、所得税預り金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は3に記載のとおりである。

2.基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科			目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定	期	預	金	2,000,000	0	0	2,000,000
合:	計(基	基本	金)	2,000,000	0	0	2,000,000

3.次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

					, , ,
科			目	前期末残高	当期末残高
当	座	預	金	740,572	256,011
普	通	預	金	879,444	1,380,100
郵	便	振	替	1,030,751	77,976
合			計	2,650,767	1,714,087
未	扎	4	金	0	93,704
所	得 税	預り	) 金	13,360	12,930
合			計	13,360	106,634
次:	期繰越	収支	差額	2,637,407	1,607,453

4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科			目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什	器	備	品	3,171,750	2,854,574	317,176